

9月是世界アルツハイマー月間です

認知症の人の声

誰もがかかる可能性のある認知症。認知症の人の声を聞き、認知症になっても安心して暮らし続けるにはどうしたらよいか、考えてみませんか？



問合せ

高齢者支援課（市役所4階） ☎55-2951 ☎55-2920
✉ho-koureishien@div.city.fuji.shizuoka.jp

認知症ってどんな病気？

認知症は、様々な原因により、脳の神経細胞の働きが徐々に変化し、記憶力や判断力などの認知機能が低下することにより、社会生活に支障をきたしてしまう状態を言います。

高齢化の進行とともに、認知症と診断される人が増加しています。65歳以上の高齢者を対象にした令和4年度の厚生労働省の調査では、認知症の人の割合は約12パーセント。認知症の前段階と考えられている軽度認知障害の人の割合は約16パーセントとされます。両方を合わせると、3人に1人が認知機能に関わる症状があることとなります。

誰もがなり得る認知症だからこそ、自分事として考えてみませんか。

認知症のイメージ

認知症になると何も分からなくなる、何もできなくなるというイメージを持つている人もいるかもしれませんが、

しかし、症状や進行具合は人それぞれで、周囲の人の接し方やケアによっても変わってきます。

住み慣れた地域で、医療・介護などのサポートを受けながら、その人らしく生活している人も多く、何より「認知症だから」という決めつけをしなないことが大切です。



認知症当事者Mさんの声

Q…認知症と診断されたときのお気持ちは？

今までできていたことができなくなり、何か変だなと感じていたので、病院を受診するときから覚悟はしていました。それでも、診断されたときは「この先どうしよう」という不安でいっぱいになり、誰にも相談できず、家に引きこもっていました。

そんなとき、近所の人から「家に引きこもっているより、外に出たほうがいいよ」と言われ、デイサービスに通い始めました。そこで、人生の先輩方から「年を取ればみんな同じ、気にすることはないよ」と言ってもらい、認知症に対する受け止め方が変わりました。

Q…現在在はどのように過ごしていますか？

デイサービスのほかに、認知症カフェに参加したり、夫や知人と「はればれカフェ」という認知症カフェを、毎月1回開催したりしています。

また、市の認知症サポーターを対象としたステップアップ講座で自分のことを話し、認知症について正しく知ってもらうための手助けをしています。

Q…Mさんが思う認知症とは？

誰でも、年を取れば忘れっぽくなるし、身体は痛いところが増えます。それがいつ来るかという違いで、誰もが通る道なので特別なものではないと思っています。



9月実施！

世界アルツハイマー月間イベント



- ① 認知症サポーター対象ステップアップ講座(募集終了)
9月3日(水) 13:30～15:00、市役所6階第1会議室
- ② 認知症相談会&脳の健康チェック
9月4・9・17・26日、市役所2階市民ホール
- ③ アルツハイマー月間記念講演会
「演劇で観る認知症の世界」
9月19日(金) 13:30～15:00、富士市交流プラザ
- ④ 認知症サポーター養成講座
9月20日(土) 13:30～15:00、フィランセ東館

- 富士川サービスエリア大観覧車
フジスカイビューオレンジライトアップ
9月21日(日) 18:00～21:00
- パネル展示
9月1～26日、市役所2階市民ホール
- 認知症に関する書籍特集
9月28日(日)まで、中央図書館



②～④は、開催の3日前までに、電話 ▲詳しくはこちら
で高齢者支援課へお申し込みください。